



せりがや通信第29号

神奈川県立精神医療センターせりがや病院

<新任職員紹介>せりがや病院では、4月から新しく看護局長と医師を迎えました。ご紹介させていただきます。

【山本看護局長】

今年は桜の開花が遅くまだ蕾の4月1日、芹香病院より転勤してまいりました。あの3月11日の東北地方太平洋沖地震、大地震後の余震、計画停電が続く薄暗いなかでの異動となりました。看護局長として就任し、その役割が担えるか不安と緊張でいっぱいですが、患者様から「せりがや病院に来てよかった」と言われるような病院づくりに寄与したいと心新たにしております。患者様との出会いは、4月3日に開催された「せりがや会」に参加してからでした。退院されたOBの皆様からの熱きメッセージに感動し、「継続してやれば、できる！」と私にも大きな力をいただきました。また、4月21日の「久良岐公園」、5月19日「大池公園」の遠出では、完走（歩）された皆様の、達成感に満ちたすばらしい表情を見て、力強さとチャレンジ精神を受け取りました。皆様から学ばせていただいた「チャレンジ精神と継続して取り組むこと」を今後の私の活動テーマにさせていただきます。患者様、ご家族の皆様にご信頼される病院、さらに新病院開棟に向け、全力を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

【中川医師】

4月には新しい職場で、右も左もわからず働いておりましたが、ようやく落ち着きつつある今日この頃です。去年は横浜市立大学附属病院に勤務しておりましたが、それまでも総合病院を中心に勤務してまいりました。これまでうつ病や統合失調症と診断された方の診療に携わることが多かったのですが、その中でアルコールの問題を抱えている方は多く、せりがや病院への受診をすすめさせていただくこともこれまでに何度かありました。一方で、紹介するだけでなく、自分自身もこちらの病院に勤務したいという思いを抱いておりましたので、今回こちらで勤務させて頂く機会を得て、感謝しております。日々の診療の中で、これほど<チーム医療>が浸透し、多職種がひとりひとりの患者様に関わって取り組んでいる病院はないのではないかと感じております。そうした体制のなか、依存症で苦しんでいる患者様の少しでも力になれるように努力してまいりたいと思います。至らない点多々あり、御迷惑をおかけすることも多いと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

【石井医師】

去年は横浜市立大学附属市民総合医療センターで勤務していました。これまで精神科疾患一般を診療しておりましたが、せりがや病院では依存症が中心となり、診療内容が昨年とガラッと変わり、身が引き締まる思いです。依存症を専門に診察しながら過去の診療を振り返ると、いかに依存症がありふれた問題であり、しかも見過ごしがちであったか、と反省することしきりです。他疾患で来院する患者さんの中にも、よくよく聞くとアルコールや薬物の問題が潜んでいることが意外と多いのです。こういった問題は、当の患者さん本人は問題とは思っていないことが多く、従って患者さん本人が自ら依存症の問題を口にされることはあまりありません。このため、医師もついつい見過ごしてしまうことが多いのではないかと思います。こういった見過ごされがちな依存症の問題に幸運にも？気づき、せりがや病院に来院された患者様は、来院して下さったこと自体が大変ありがたいことだと思います。来院して下さる患者様のためにも精一杯向き合っていこうと思いますので、これからもよろしくお願いいたします。

「看護の日記念週間を終えて」

せりがや病院 看護師 中山 新

今年の看護の日記念週間の行事は、5月10日(火)に「せりがや病院で働く人々」というポスター掲示から始まりました。12日(木)にはクラシックコンサート、14日(土)は黒澤医師による「薬物依存症について」の講演会と薬物乱用防止キャラバンカーでの啓発活動を行いました。

ポスター掲示では、多職種がチームとして患者さんの治療に携わっている様子を感じていただけたのではないのでしょうか。クラシックコンサート当日はあいにくのお天気でしたが、ピアノやフルート、マリンバの素晴らしい演奏や合唱を患者さんたちも楽しんでおられたようです。講演会では、日本における薬物使用の変遷や薬物が身体・精神に与える影響、薬物依存症の治療などをテーマに、黒澤医師にわかりやすく解説していただきました。また、キャラバンカーも薬物の説明や実物の展示が盛況でした。

行事全体を通して、依存症治療とせりがや病院のことを皆さんに知っていただく良い機会になったのではないかと感じました。今年度は一般の方の来場が例年より少なかったことなど反省点もいくつかありますが、よりよい行事にしていけるよう、病院スタッフ一同力を合わせて取り組んでいきたいと考えております。ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。

＜アルコール家族教室のご案内＞			＜薬物依存症の家族教室のご案内＞		
＜特別講座予定＞			＜特別講座予定＞		
① 7月7日(木) 町田 政明先生			① 6月23日(木) 川崎ダルクのみなさん		
開催日程と担当			開催日程とテーマ		
7月 7日(木)	B	ソーシャルワーカー	7月 14日(木)	2	家族ができること
7月 21日(木)	C	看護師	7月 28日(木)	3	家族の変化・本人の変化
8月 4日(木)	B	ソーシャルワーカー	8月 11日(木)	4	家族の回復
8月 18日(木)	A	医師	8月 25日(木)	1	薬物依存症とは
9月 1日(木)	B	ソーシャルワーカー	9月 8日(木)	2	家族ができること
9月 15日(木)	C	看護師	9月 22日(木)	3	家族の変化・本人の変化
アルコール家族教室は、アルコール依存症の知識や特質について学び合い、適切な関わり方を共に考えていくことを目的としています。A(医師)・B(ソーシャルワーカー)・C(看護師)それぞれの立場から上記日程で開催いたします。(当院を受診していない患者様のご家族も参加できます)			薬物依存症家族教室では、シンナー、覚せい剤、麻薬、大麻、処方薬などの薬物依存(中毒)についての知識や薬物依存症の特質について学び合い、適切な関わり方を共に考えていくことを目的としています。どの回からでも参加できますが、4回通ってご参加いただくことをお勧めしています。(当院を受診していない患者様のご家族も参加できます)		
参加方法 予約なし・無料です。			参加方法 予約なし・無料です。		
開催時間 第1・3木曜日午後1時30分～3時30分 (但し、祭日はお休み)			開催時間 第2、第4木曜日午後1時30分～3時 (但し、祭日はお休み)		
場 所 せりがや病院2階デイ・ケア室			場 所 せりがや病院2階デイ・ケア室		



外 来 診 療 (新 患 ・ 再 来) は 予 約 制 です。

◎予約変更は平日の午後2時～4時にご連絡ください TEL:045(822)0365

電話番号の掛け間違いが大変多くなっています。よくお確かめの上、おかけ下さい。

〒 233-0006 住所 神奈川県横浜市港南区芹が谷 2-3-1

<http://kanagawa-pho.jp/osirase/byouin/seisin/serigaya/index.html>

発行所 地方独立行政法人 神奈川県立病院機構 神奈川県立精神医療センター せりがや病院 編集委員